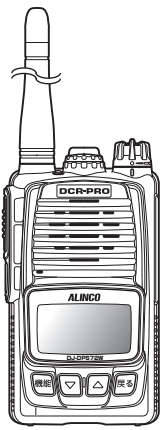


ALINCO



デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）
AMBE方式 / Bluetooth Module XE1134 内蔵
無線局種別コード：3R/3T（登録局）
専用スマートフォンアプリ無線対応

DJ-DPS72W 簡易取扱説明書

- ＜注意＞
- ・本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
 - ・音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™以外の無線機とは通話できません。
 - ・Bluetooth ユニットを搭載しますがアプリ無線接続用です。別売のワイヤレスマイク類は本機ではお使いになれません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書と安全上のご注意を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

支店・営業所とサービスセンター(SC)
東京 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番24号 いちご丸の内サスビル3階 TEL.052-212-0541
大阪 / SC 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋タイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間 / 月曜～金曜 10:00～17:00（土日祝・休業日と12:00～13:00は除きます。）
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/>>事業案内>電子事業部 をご覧ください。
Bluetoothのワードロゴ及びロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、PS1131A
または全部を無断で複写/転用することは禁止されています。 FNFH-NH
This product is intended for use only in Japan. Copyright Alinco,Inc.

◆◆◆ 使用上のご注意 ◆◆◆

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

- 電波法上のご注意
- ・本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
 - ・他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を無断で使用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
 - ・本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになります。上空での使用は違法で罰せられます。規格の違いから、海外では使えません。
 - ・届け出た住所やお客様の名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。
- 本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m 程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。
- 本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。
- 高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほごりの多い場所は避けてお使いください。

- 通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。
- 販売店で事前にプログラミングしている場合、本書や詳細取扱説明書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

- 本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。
- 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。
- 本機は米国 DVSI 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™を使用した他のデジタル簡易無線（種別コード：3R/3T）との互換性を確保していますが、AMBE+2™以外の音声圧縮技術（RACWI 方式など）を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

株式会社エクセリ(代理店届出番号C1909977) 東京都墨田区菊川3-17-2アドン菊川ビル4F / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5 URL: <https://www.exseli.com/>

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form. US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

■ Important
This product is permitted to use for business, leisure and hobby communications within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. A Radio-user fee will be charged annually by a government agency. In case you change registered contact information such as address and name, you should report it to the authority. For any registration-related information, please contact your dealer or a regional Bureau of Telecommunications of the Ministry of General Affairs of Japan. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine and/or punishment.

外郭保護性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP64/65/67/68 規格の耐塵防水試験に合格しており、適合するアクセサリ、アンテナ、バッテリーパックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりしたときはすぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いになれます。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じとさせていただきます。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。耐久性は米軍規格 MIL-810 の振動と衝撃規格で確認済です。衝撃は落下ではなく、急ブレーキや急発進時にかかる G（重力加速度）を想定した規格です。IP6X 耐塵：既定の条件下で塵やほこりが内部に入らないこと IPX4/5 耐飛沫・噴流：既定の条件の飛沫や噴流水を掛けても有害な影響が生じないこと IPX7 防浸：真水・静水に水深 1.0m の位置で 30 分間浸しても有害な影響を生じないこと

Bluetooth® について

本機に内蔵している Bluetooth Module (XE1134) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でたく禁じられています。電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

- Bluetooth 機能による電波干渉について
本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。
Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。
- ・本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
 - ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
 - ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

- 2.4GHz 現品表示記号の意味について
[2.4]：2.4GHz 帯を使用する無線設備
[FH]：FHSS 方式
[1]：想定干渉距離が 10m 以下
[―]：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可

■Bluetooth の登録商標 / 著作権について
Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

付属品一覧

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。
□本体
□Li-ion バッテリーパック EBP-198(7.2V 2200mAh)
□シングル充電スタンド EDC-326R
□AC アダプター EDC-215
□ベルトクリップ（装着済）EBC-46 ビス 2 本付
□ミドルアンテナ EA-247
□簡易取扱説明書
□安全上のご注意
□申請書類一式
□保証書

■注意 保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

※弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は製品保証の対象外です。アクセサリ専門メーカーの製品については、そのメーカーに直接お問い合わせください。他社製品に起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

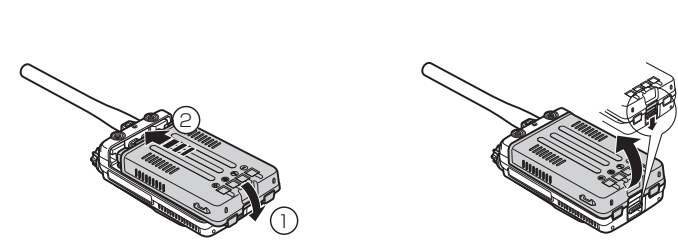
アンテナの取付け、取外し方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。外すときは反時計方向（左）に回します。

■注意 本機に接続できるアンテナは、本機の技術基準適合証明を受ける際にあらかじめ弊社が届け出をした形状と利得のアンテナに限られます。新しく発売される市販品には対応しない場合があります。アンテナについては弊社 HP の本機の製品紹介ページでご説明しています。

バッテリーパックの取付け、取外し方法

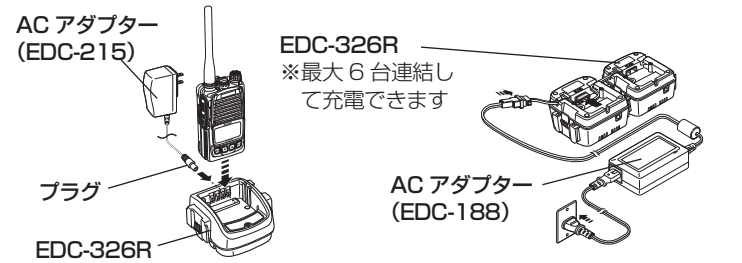
- 取付け方
バッテリーパックを本体のツメに合わせ、矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。
- 取外し方
本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取外します。



バッテリーパックの充電

■注意 ・バッテリーパックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。
・本機専用の AC アダプターと充電スタンド以外の使用は危険です。絶対におやめください。
・長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。（過充電）
・バッテリーパック及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。（この際に充電端子を変形させないようにご注意ください。）

充電スタンドと AC アダプターを図のように接続してバッテリーパックを充電します。充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。



■参考 ・Li-ion バッテリーパックの保存で最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態です。
長期保存するときは表示の電池マークが1目盛減っているのを目安にし、本体から外して乾燥した冷暗所に保管してください。1か月を目安に本体に装着して状態を確認、電池マークが空になったら1時間程度補充充電してください。
・Li-ion 系充電池は使用・保存状態にかかわらず、数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3 年を目安、長くても5 年以内に新品にご交換ください。
・充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-198 は約 3 時間です。充電時間は周囲の温度で変動します。
・充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、バッテリーパックを無線機から外して単体で充電してください。
・非常時の備蓄用などでバッテリーパックを装着した状態で長期保管するときは、週に一度は本体から外して液漏れや放電していないことを確かめてください。待機電流のためバッテリーパックは徐々に放電します。

バッテリーパックのリサイクルについて

古くなったバッテリーパックは金属端子にテープ（セロハンテープ、ビニールテープ、ガムテープなど）を貼り、電流が流れない状態（絶縁）にしてからお住まいの自治体の指示に従ってリサイクルしていただくか、本書に記載のサービスセンターへご相談ください。

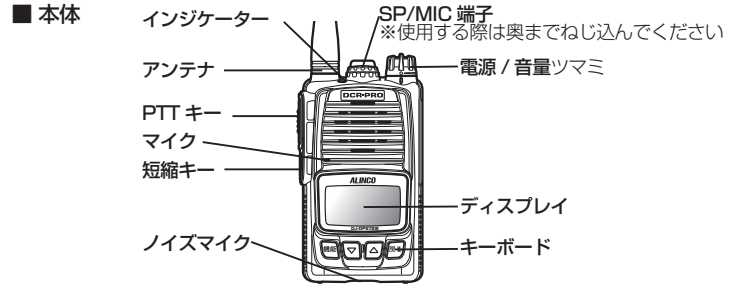
運用時間

いずれも弊社規定の測定条件にて（*1）

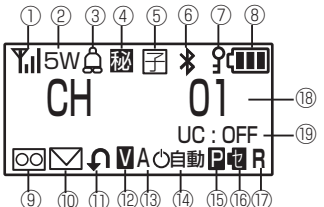
	バッテリーセーブ有効時	バッテリーセーブ無効時
Bluetooth オン	約 11 ～ 13 時間（*2）	約 11 時間
Bluetooth オフ	約 15 時間	約 11.5 時間

（*1）送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返しです。
（*2）アプリ受信中は、安定した受信のためバッテリーセーブが無効になります。そのため運用時間が変動します。

本体の名称と動作



名称	機能
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に戻ります。
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。
イアプリ無線とデジタル簡易無線共通	緑点灯：受信 赤点灯：送信 水色点滅：短縮キーで音量固定中 白フラッシュ：緊急通報送信または受信 黄フラッシュ：電池電圧低下
デジタル簡易無線として使用した時	紫点灯：接客モード動作中 紫フラッシュ：イヤホン断線検知 青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時）/ 未読メッセージあり
アプリ無線として使用した時	青早い点滅：ペアリング中 青早い 2 回点滅：Bluetooth 未接続状態 青遅い点滅：Bluetooth 接続状態 水色点灯：アプリ無線受信中、ガイダンス中 黄点灯：アプリ無線送信中 水色緑交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信 黄赤交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信
機能キー	押すとセットモードになります。項目の設定にも使います。
キーボード	セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。長押しでキーロック設定 / 解除ができます。また、セットモードで他の機能に割り当てすることもできます。
▼/▲キー	チャンネル変更、各設定項目の UP/DOWN、セットモードで同時押しに短縮機能を割り当てることができます。

■ ディスプレイ表示		
		
説明		
①		受信した電波のレベルに応じて 4 段階に点灯します。送信時には別の送信アイコンが表示されます。
②	5W	送信出力レベルを表示します。
③		着信があったことを知らせるベル機能設定時に点灯します。
④		秘話通信設定時に点灯します。
⑤		子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。
⑥		Bluetooth 設定時に点灯します。
⑦		キーロック設定時に点灯します。
⑧		バッテリー残量を表示します。
⑨		未聴の録音データがあるときに点灯します。
⑩		未読のショートメッセージがあるときに点灯します。
⑪		コールバック機能設定時に点灯します。
⑫		VOX 機能設定時に点灯します。
⑬	A	送信時の通信状態を表示します。
⑭		オートパワーオフ機能設定時に点灯します。
⑮		プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。
⑯		バッテリーセーブ機能設定時に点灯します。
⑰	R	中継機能をオンにすると点灯します。
⑱	CH 01	送信・受信チャンネル番号（周波数）や各設定内容を表示します。
⑲	UC: OFF	ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

基本操作

■音声ガイドンス

本機はチャンネルやグループなどの設定内容および、各状態を音声ガイドンスでお知らせします。

■キー操作

「押します」とはキーを押した後すぐに離すことを指します。「約〇秒押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。

■電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。電源を切るときは反時計周りにカチッと音がするまで回すと表示が消えます。

■音量を調整する

電源を入れてからツマミを回すと音量が調整できます。時計方向で大きくなり、反対に回すと小さくなります。イヤホン使用時は音量を最小にしてから、ゆっくり音量を上げてください。

■チャンネルを合わせる

待受画面で「▼/▲」キーを押し、交信相手と同じチャンネルを選択します。キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。
※CH15 は呼び出し専用、CH26 ～ 30 と CH71 ～ 82 はデータ通信での使用が推奨されています。音声の通話はお控えください。
※アプリ専用と表示されたチャンネルはアプリ無線専用チャンネルです。詳しくは「専用スマートフォンアプリとの接続方法と通話方法について」をお読みください。

■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。個別通信のときは相手局の個別 ID が表示されます。

注意	インバーター内蔵の電気製品（LED 照明、DC-AC インバーターなどの車載機器）の近くではノイズが発生して、受信障害になることがあります。
-----------	--

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信します。「PTT」キーを押したままで、マイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。「PTT」キーを押してすぐ話すと初めの部分が伝わらない「頭切れ」が起こります、ピ音が終わってから話してください。「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。

注意	・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると歪み、声が小さいと相手が聞き取れなくなります。 ・本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用したときと外部マイクなどのアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。 ・マイク穴をステッカーやラベルを貼ったり、手や指でふさがないでください。声を拾わなくなります。
-----------	--

通信前のご注意

■キャリアセンス

一定以上の信号を受信しているときは送信しません。受信中に送信しようとするアラーム音とディスプレイに「CH 使用中」と表示し、送信できないことをお知らせします。先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。
・各種の選択通話設定（ユーザー・個別・秘話など）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは声が出ていなくても先に通話中の人がいると判断できます。

便利な機能

■短縮機能

「短縮キー」、「戻る長押」、「▲▼同時押」を押したときの動作を割り当てられます。キーによって割り当てできる項目が異なります。詳しくは詳細取扱説明書をご覧ください。

■キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。短縮機能に「キーロック」が割り当てられているときに、「戻る」キーを 0.5 秒以上押すとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック設定時「PTT」キー、「短縮」キーの一部、「緊急通報機能」、電源の入/切の操作のみが可能です。キーロックを解除するときはもう一度「戻る」キーを 0.5 秒以上押して「鍵アイコン」を消してください。

■リセット

電源を切り、「短縮」キーと「戻る」キーを押したまま電源を入れます。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押すと全て初期化されます。拡張セットモード、録音データ、ショートメッセージ、Bluetooth ペアリング情報も消去され、復元できなくなります。

	販売店が納入前に各設定をプログラミングされ、リセットできないことがあります。（編集ソフトでリセット禁止が設定できます）
参考	・誤操作で通話できなくなったときは、リセットしてから正常に動作する無線機をマスター機にしてエアクローンするのが一番確実な復旧方法です。販売店がプログラムして納入されたものはエアクローンせず、販売店にご相談ください。

専用スマートフォンアプリとの接続方法と通話方法について

本機と Bluetooth 接続した専用スマートフォンアプリ [Air-InCom/Air-InCom Lite]（※以降専用アプリと記載）でインターネットを介して通話できます。アプリの使用には別途契約が必要です。販売店または弊社の HP をご覧ください。アプリ無線に接続する Bluetooth の通信範囲の目安は約 10m ですのでスマートフォンはその範囲内に置いてください。受信音量を最適に保つためスマートフォンの音量は常にセンター付近に設定してください。

※アプリ無線の通話には 0.5 秒程度の遅延があり、電話回線の状態によってはそれ以上の遅延や通話の切断などの障害が発生することがあります。

■スマートフォンとの接続（ペアリング）及び専用アプリ

※初めてお使いの時は電源を入れるだけで、1、2 の項目の操作は不要です。
1. セットモード「各種動作設定」の「Bluetooth」をオンに設定します。Bluetooth 機能がオンになっていると、待受画面に  が表示されます。
2. 一度電源をオフにして「▲」キーを押しながら電源を入れると、ディスプレイに「ペアリング初期化」と表示されます。そして「機能」キーを押すと、ペアリング情報が初期化され、ペアリングモードになります。
3. スマートフォン側の操作で本機とペアリングさせます。
4. 本機とスマートフォンの接続ができたら、本機のインジケーターが青色で遅い点滅に変わります。
5. 次にチャンネルを「アプリ専用」に合わせるか、PTT キーをアプリ無線の送信ができるようにセットモード「各種動作設定」の「BT 時 PTT 設定」を「アプリ送信」に設定します。または短縮機能への割り当ても可能です。
6. 専用アプリの種類によっては、本機と BLE(Bluetooth Low Energy) 接続を行う必要があります。本製品をペアリングモードにした後の BLE 接続方法は専用アプリの取扱説明書をお読みください。

注意	・ペアリング機器が見つからない状態が 5 分続いたときは、PTT 設定が「アプリ無線」または「同時送信」に設定されていた場合、自動的に PTT 設定が「デジタル簡易無線」に切り替わります。ただしアプリ専用チャンネルの場合はチャンネル自体が表示されなくなります。 ・一度ペアリングしたスマートフォンとは、初期化しない限りそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。 ・専用アプリの PTT ホールド機能は OFF にして使用してください。本機が正しく動作しなくなります。なお、PTT ホールド機能を使用してアプリ無線での通話を行う場合は、本機の機能を使用してください。
-----------	---

■PTT 設定について

Bluetooth 接続時、セットモードの「各種動作設定」の「BT 時 PTT 設定」を選択し、「アプリ送信」を選ぶと PTT キーを押すことによりアプリ無線で送信できます。また、アプリ無線とデジタル簡易無線両方で同時に送信したい場合は「同時送信」を選びます。ディスプレイには、PTT 設定がデジタル簡易無線になっている時は「D」、アプリ無線になっている時は「A」、同時送信になっている時は「B」と表示されます。

■アプリ無線専用チャンネル

アプリ無線専用チャンネルは CH82 と CH01 の間に「アプリ専用」と表示されます。このチャンネルではデジタル簡易無線の送受信はできません。PTT 設定も自動でアプリ送信になります。Bluetooth 機能をオフにしている場合はこのチャンネルを表示しません。

■アプリ無線の受信

デジタル簡易無線のチャンネルに設定していても、アプリ無線の受信音声を聞くことができます。デジタル簡易無線とアプリ無線を同時に受信した場合はミックスされた受信音が聞こえます。

■電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに、短縮機能のにいずれかに「応答キー」を割り当てておくことで電話の応答 / 拒否（Air-InCom Lite の場合は拒否をすることができません）をすることができます。また通話を終える時は「応答キー」を押すと通話を切断することができます。

[Air-InCom 使用時]

専用アプリのバージョンにより動作が異なる場合がありますので、詳しくは専用アプリの取扱説明書をお読みください。

[Air-InCom Lite 使用時]

iPhone：専用アプリでの通話中に短縮機能の「応答キー」を押すと、電話に応答できます。電話を終了する時も「応答キー」を押すと終了します。

電話応答を終了すると専用アプリの通話を再開します。（送信状態で電話応答した場合は、送信状態から再開します）

Android：専用アプリでの通話中に短縮機能の「応答キー」を押すと、電話に応答できます。この時、専用アプリの通話は終了します。チャンネルが切断状態になります。電話を終了する時も「応答キー」を押すと終了します。専用アプリの通話を再開するには再度、チャンネル接続してから行う必要があります。

	・スマートフォンの機種によっては本機での電話の応答/拒否及び終了ができないことがあります。その場合はスマートフォン側で操作を行ってください。
参考	

故障とお考えになる前に

	「故障かな？」と思われるら、まず以下の表をお読みください。マイク類や電池類などが原因の不具合もありますので、必ずアクセサリも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。
--	---

症状	原因	処置
電源を入れてもディスプレイに何も表示されない	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
スピーカーから音が出ない。受信できない「ギャラギャラ」音が聞こえる	バッテリーパックが消耗している。 音量が低すぎる。 「PTT」キーが押され、送信状態になっている。 秘話コードが一致していない。	バッテリーパックを充電する。 適切な音量に設定する。 「PTT」キーを離す。 秘話コードを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーを OFF にする。
受信中に表示が点滅したり消えたりする	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
送信ができない。送信しても応答がない	「PTT」キーが確実に押されていない。 チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。 別のユーザーがチャンネルを使用している。 出力が低く、相手に届いていない。 「BT 時 PTT 設定」がアプリ送信になっている。	「PTT」キーを押して、インジケーターを赤色に点灯させてから送信する。 相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。 信号がなくなるのを待ってから送信する。 送信出力を今の設定よりも大きくする。 「BT 時 PTT 設定」を無線送信に変更する。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
チャンネル（周波数）が切替わらない。キーによる操作ができない	キーロックが設定されている。 プライベートチャンネルになっている。	キーロックの設定を解除する。 短縮動作のプライベート CH 機能を使い、元のチャンネルに戻る。
表示が異常になっている	CPU が誤動作している。	リセットする。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取る。
充電スタンドのランプが赤色に点滅する	充電スタンドの保護回路が働いている。	バッテリーパック単体で充電する。充電時、無線機の電源を切る。
アプリ無線が動作しない	お使いになるスマートフォンとペアリングされていない。	ペアリング方法にしたがってペアリングをする。
アプリ無線の受信音が小さい。または歪んで聞こえる	ペアリングされるスマートフォンの音量設定が小さく、または大きくなりすぎている。	スマートフォンの音量設定をセンター付近に調整する。

アフターサービス

◎保証と保証書

修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店との間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼り付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかを確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

◎保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ電子 FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

◎製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 5 年です。

◎ 注意事項

●改造、分解されたり銘板やラベル類がはがされた製品は、修理をお断りします。銘板を隠すシールや飾り類は修理の際、取り除くことがあります。
●修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
●仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
●本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
●本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
●乱丁・落丁はお取り替え致します。

オプション一覧

□EBP-198	Li-ion バッテリーバック（7.2V 2200mAh）
□EBP-199	Li-ion バッテリーバック（7.2V 3200mAh）
□EDH-43	12/24V兼用外部電源アダプター
□EDC-194A	EDH-43接続用シガーケーブル
□EDC-326R	シングル充電スタンド（連結仕様）
□EDC-215	AC アダプター(1 台充電用)

□EDC-188	AC アダプター(連結充電用)
□EMS-62	IP54 相当スピーカーマイク
□EMS-71	IP67 相当防水スピーカーマイク（イヤホンジャック無し）
□EMS-514	IP67 防水スピーカーマイク
□EME-32A	カナル型イヤホンマイク(PTT ロック付)
□EME-48A	耳かけ型イヤホンマイク(PTT ロック付)
□EME-62A	咽喉マイク
□EME-64A	ヘッドセット
□EHG-70	ハードケース
□EA-247	ミドルアンテナ
□EBC-46	ベルトクリップ
□EBC-50	フリーベルトクリップ
□EBC-56	ショルダーベルト
□EDS-14	2ピン型マイクプラグ変換ケーブル
□ERW-7	パソコン接続用ケーブル(EDS-14も必要です)
□ERW-23	パソコン接続用ケーブル(4極)

定格	
送受信周波数	351.200000 ～ 351.631250MHz(CH1 ～ CH70) 351.031250 ～ 351.100000MHz(CH71 ～ CH82)
受信専用周波数	351.106250 ～ 351.193750MHz (上空用チャンネル S6 ～ S15、S1 ～ S5)
電波型式	F1CF1DF1EF1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	1.8A 以下（送信時：5W） 1.1A 以下（送信時：2W） 0.8A 以下（送信時：1W） 500mA 以下（受信時） 150mA 以下（待受時：Bluetooth オン）
外形寸法（突起物除く） W × H × D	55.8 × 95.8 × 32.5mm EBP-198 装着時
質量（ミドルアンテナ装着時）	約 244g（EBP-198 装着時）
使用温度範囲	－ 20℃～＋ 60℃
充電温度範囲	0℃～＋ 45℃
送信出力	5W/2W/1W（偏差：＋ 20%、－ 50%）
変調方式	4 値 FSK
受信感度	－ 5dBμV EMF 以下（BER1 × 10 ^{−2} ）
低周波出力（10%歪時）	700mW 以上